

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.22 (2018.1.26)

平成29年度スローガン
おかげさまで140周年！新たな飛躍への一歩！
みんなで目指す顧客感動経営
Improve Customer Loyalty
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄



皆さん改めましてあけましておめでとうございます。2018年も早いもので一ヶ月が過ぎようとしておりますが、皆様はどのような一年のスタートでしたでしょうか。インフルエンザによる発熱や体調を崩すなどして休暇を取っている社員の方も散見されますが、本格的な冬もあとひと月程度です。是非体調管理には十分留意して乗り切って参りましょう。

さて昨年の我が国経済を顧みますと、低水準の失業率・名目賃金のプラス推移・堅調な住宅着工数などの材料で、景気全体も緩やかに上向きが続きました。2018年も米国や中国などの海外経済の好調が見込まれる中、輸出関連を中心に底堅く推移すると見込まれています。一方で都市と地方との経済格差拡大の流れは止まらず、多くの地方都市では景況感を感じることができないのが現実です。県内企業においては、自動車関連向け電子部品や観光産業で小幅ながら改善がみられたものの、湯沢雄勝管内ではそれらの恩恵は限定的なものであったと思われます。しかしながら有効求人倍率は湯沢管内でもようやく1倍を超える状況になり、人材確保が大きな経営課題であることが顕在化した状況にあります。

2018年の県南経済に影響を与えるプロジェクトとして、①成瀬ダム②地熱開発③東北中央自動車道が挙げられます。また昨夏の水害の復旧工事が平鹿仙北を中心に増加するものと思われます。成瀬ダムでは今後ピーク時に800名の作業員が見込まれ、地熱プロジェクトは山葵沢・下の岱・小安地域が継続して進行し、東北中央道は横堀道路がいよいよ着工の見込みとなっております。これらは地元経済にとって明るい材料であり、工事関連の受注や宿泊・飲食・購買などの需要が引き続き期待されます。当社としても公共民間工事の受注確保に努めて参りたいと思っております。

さて当社では秋田銀行・北都銀行両行からCSR私募債を発行して資金調達を行いました。私募債の発行は適債基準をクリアした優良企業に限られるため、結果的に信用力の高さを対外的にアピールすることが可能となるものです。また発行額の0.2%を地域の学校や医療・福祉施設、環境保全や文化財保護を行う団体等へ寄贈するオプションが付与されており、当社は湯沢市教育委員会に寄贈させて頂くこととし、1月23日に寄贈式を行いました。些少ではありますが、地域の子供たちの為に少しでも役立ててもらえればと思っております。



高校生向け「企業博覧会」

12月23日湯沢グランドホテル



で開催されました。当社も昨年に引き続き出展しました。当社に興味を持ってくれた生徒もいたようです。



Live&Caffe Bless one



RプラスH第一号の伊藤様邸

12月24日プレオープンとしてご招待いただきました。県南のミュージックシーンの牽引役と成ることを期待します。



台湾旅行代理店来湯

1月18日、秋田の観光ルート開拓のため、



「百年料亭モニターツアー」の皆様とインバウンドツアーに関する意見交流会。湯沢市を拠点に滞在型観光の話で盛り上がりました。踊りにお座敷遊びと、日本の文化体験で盛り上がりました

